

1 ベクトルの和

【1】

座標空間内に4点 $A(-1, 2, 1)$, $B(-1, -1, 4)$, $C(1, -1, 1)$, $D(x, y, z)$ がある。これら4点が同一平面上にあり、かつこれらを頂点とする四角形がひし形であるのは、 $(x, y, z) = \square$ のときである。

(13 立教大 経済・観光・福祉 1(8))

(解答)

2 分点公式 (1次独立)

【2】

$\triangle OAB$ があり、その重心を G とし、辺 AB を $1:3$ に内分する点を P とする。このとき、 \overrightarrow{GP} を \overrightarrow{OA} , \overrightarrow{OB} を用いて表すと、 $\overrightarrow{GP} = \frac{\square}{\square} \overrightarrow{OA} - \frac{\square}{\square} \overrightarrow{OB}$ である。

(13 同志社女大 薬 1(6))

(解答)

【3】

$\triangle ABC$ において、辺 AC を $3:2$ に内分する点を D とし、線分 BD を $2:1$ に内分する点を E とする。 $\overrightarrow{AB} = \vec{a}$, $\overrightarrow{AC} = \vec{b}$ とするとき、 \overrightarrow{AE} を \vec{a} と \vec{b} を用いて表すと、 $\overrightarrow{AE} = \square$ である。また、直線 AE と辺 BC との交点を F とするとき、比 $BF:FC$ を求めると \square である。

(13 福岡大 工・薬 4)

(解答)

【4】

平行四辺形 $ABCD$ において、辺 AB を $1:1$ に内分する点を E 、辺 BC を $2:1$ に内分する点を F 、辺 CD を $3:1$ に内分する点を G とする。線分 CE と線分 FG の交点を P とし、線分 AP を延長した直線と辺 BC の交点を Q とするとき、比 $AP:PQ$ を求めよ。

(13 京都大 理1文2)

(解答)

【5】

$\triangle OAB$ において、辺 OA を $3:4$ に内分する点を D 、辺 OB を $2:1$ に内分する点を E とする。また、 t を $0 < t < 1$ を満たす実数とすると、辺 AB を $t:(1-t)$ に内分する点を P とし、線分 BD と線分 OP との交点を Q とする。 $\vec{OA} = \vec{a}$ 、 $\vec{OB} = \vec{b}$ とし、次の問いに答えなさい。

- (1) \vec{OP} を \vec{a} 、 \vec{b} および t を用いて表しなさい。
- (2) \vec{OQ} を \vec{a} 、 \vec{b} および t を用いて表しなさい。
- (3) 点 Q が直線 AE 上にあるとき、 t の値を求めなさい

(13 山口大 農・共同獣医・教育・経済 1)

(解答)

【6】

$\triangle ABC$ に対して、 AB の中点を M 、 AC を $5:2$ に外分する点を N とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 線分 MN と BC の交点を Q とするとき、 \vec{AQ} を \vec{AM} と \vec{AN} を用いて表せ。
- (2) 実数 t ($0 \leq t \leq 1$) に対して

$$(7t - 4)\vec{PA} + 3t\vec{PB} + (10 - 10t)\vec{PC} = \vec{0}$$

をみたす点 P を考える。 t が $0 \leq t \leq 1$ の範囲を動くときの点 P の軌跡を求めよ。

(13 愛知教大 後 2)

(解答)

【7】

$\triangle ABC$ の辺 BC を $2:1$ に内分する点を P とし、線分 AP を $(1-t):t$ ($0 < t < 1$) に内分する点を Q とする。等式

$$4\vec{AQ} + \vec{BQ} + 2\vec{CQ} = \vec{0}$$

が成り立つとき、 t の値は $\boxed{\text{④}}$ である。

(13 関西大 シス・環境・化生命 2月2日 4(3))

(解答)

【 8 】

s, t, u を正の実数とする. 点 O を内部に含む $\triangle ABC$ について, $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$, $\vec{OC} = \vec{c}$ とすると, $s\vec{a} + t\vec{b} + u\vec{c} = \vec{0}$ が成り立っている. 直線 CO と線分 AB の交点を D とし, $\triangle BCO$ の面積を S_A , $\triangle CAO$ の面積を S_B , $\triangle ABO$ の面積を S_C とする.

- (1) 面積の比 $S_A : S_B$ は, 線分の長さの比 $BD : AD$ に等しいことを示せ.
- (2) 比 $BD : AD$ を s, t, u を用いて表せ.
- (3) 比 $S_A : S_B : S_C$ を s, t, u を用いて表せ.

(13 山梨大 教育人間科学・生命環境 3)

(解答)

3 内積

【 9 】

ベクトル $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ を $\vec{a} = (1, 3)$, $\vec{b} = (3, 4)$, $\vec{c} = (1, 1)$ とする. \vec{a} と \vec{b} の内積は $\vec{a} \cdot \vec{b} =$ であり, \vec{a} と \vec{b} のなす角を θ とすると, $\cos \theta =$ である. また, t を実数として $\vec{v} = \vec{a} + t\vec{b}$ とおくと, \vec{v} と \vec{c} が垂直ならば $t =$ であり, 平行ならば $t =$ である.

(13 神奈川工科大 工・創造工・情報 2(2))

(解答)

【 10 】

空間内に 4 点 $A(1, 3, 2)$, $B(2, 2, 5)$, $C(x, y, -4)$, $D(-2, 6, z)$ がある. A, B, C が一直線上にあるとき, $x = -$, $y =$ である. また, 直線 AB と直線 AD が直交するとき, $z =$ である.

(13 日本大 生物資源 (獣医) 2(5))

(解答)

【 11 】

$A(15, 0)$, $B(-9, 12)$, $C(-12, -9)$ として, 三角形 ABC を考える. このとき, 重心 G の座標は $G(\text{オカ}, \text{キ})$, 垂心 H の座標は $H(\text{クケ}, \text{コ})$ となるので, 原点を O として, O, G, H は一直線上にあり, $\overline{OG} : \overline{GH} =$: となる.

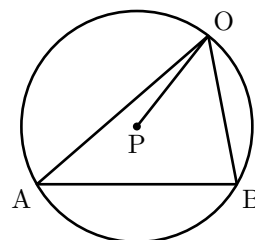
(13 中部大 工 1(3))

(解答)

【 12 】

OA = 3, OB = 2, $\angle AOB = 60^\circ$ の三角形 OAB の外接円の中心を P とする. $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$, $\vec{OP} = \vec{p}$ とするとき, 以下の問いに答えよ.

- (1) 内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ の値を求めよ.
- (2) 内積 $\vec{a} \cdot \vec{p}$ の値を求めよ.
- (3) \vec{p} を \vec{a} と \vec{b} で表せ.



(13 工学院大 3)

(解答)

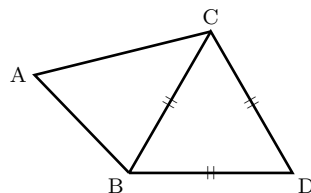
4 図形への応用

4.1 平面ベクトル

【 13 】

三角形 ABC は, 3 辺の長さがそれぞれ $AB = 3$, $BC = \sqrt{13}$, $CA = 4$ である. 辺 BC を共有する正三角形 CBD が三角形 ABC の外側にあるとき,

$$\vec{AD} = \frac{\boxed{\text{ホ}}}{\boxed{\text{マ}}} \vec{AB} + \frac{\boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ム}}} \vec{AC} \text{ である.}$$



(13 東邦大 医 13)

(解答)

【 14 】

OA = a, OB = b, AB = c である三角形 OAB の内心を P, 外心を Q とする. このとき, 次の問いに答えよ.

- (1) ベクトル \vec{OP} は

$$\vec{OP} = \frac{b}{a+b+c} \vec{OA} + \frac{a}{a+b+c} \vec{OB}$$

と表されることを示せ.

- (2) $a = 4$, $b = 5$, $c = 6$ とし, P から辺 OB へ下ろした垂線を PH とする. ベクトル \vec{PH} を \vec{OA} と \vec{OB} を用いて表せ. また, \vec{PH} の大きさを求めよ.
- (3) $a = 4$, $b = 5$, $c = 6$ とするとき, ベクトル \vec{OQ} を \vec{OA} と \vec{OB} を用いて表せ. また, \vec{OQ} の大きさを求めよ.

(13 静岡大 後 工・情報 6)

(解答)

【 15 】

半径 1 の外接円をもつ三角形 ABC の外心を O とする. $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$, $\vec{OC} = \vec{c}$ とおく. $2\vec{a} + 3\vec{b} + 3\vec{c} = \vec{0}$ であるとき, 次の問いに答えよ.

- (1) 内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ を求めよ.
- (2) 辺 AB, AC の長さをそれぞれ求めよ.
- (3) $\angle BAC = \theta$ とおく. $\cos \theta$ の値を求めよ.

(13 奈良女大 理 1)

(解答)

【 16 】

平面上において, 原点 O と 2 点 A(1, 1), B(2, 1) に対して, ベクトル $\vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB}$ を考える. 定数 s と t が条件 $s \geq 0, t \geq 0, 1 \leq s + t \leq 2$ をみたしながら変わるとき, 点 P の描く図形の面積を求めよ. さらに内積 $\vec{OA} \cdot \vec{OP}$ の最大値と最小値も求めよ.

(13 信州大 後 医 3(1))

(解答)

【 17 】

平面上に 3 点 O, A, B があり, $|\vec{OA}| = |\vec{OA} + \vec{OB}| = |2\vec{OA} + \vec{OB}| = 1$ をみたしている. このとき, $|\vec{OB}| = \boxed{\text{エ}}$ である.

また, 実数 s, t が条件 $1 \leq s + 3t \leq 3, s \geq 0, t \geq 0$ をみたしながら動くとき, $\vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB}$ で定められた点 P の存在する範囲の面積は $\boxed{\text{オ}}$ である.

(13 東京慈恵医大 1(2))

(解答)

【 18 】

xy 平面上に 4 点 O(0, 0), A(-1, 2), B(2, 1), P(u, v) がある. 点 P が

$$\vec{OP} = \vec{OA} \cos \alpha + \vec{OB} \sin \beta \quad (\text{ただし, } 0 \leq \alpha \leq \pi, 0 \leq \beta \leq \pi)$$

を満たすとき, 点 P の存在する領域を図示せよ.

(13 信州大 教育 3)

(解答)

【 19 】

O を原点とする座標平面に点 A(2, 1) と点 B(1, -2) をとる. 実数 θ ($0 \leq \theta < 2\pi$) に対して点 P は $\vec{OP} = (\cos \theta)\vec{OA} + (1 - \sin \theta)\vec{OB}$ を満たすものとする. 次の問いに答えよ.

- (1) 内積 $\vec{OA} \cdot \vec{OB}$ を求めよ.
- (2) θ が $0 \leq \theta < 2\pi$ を満たす値をとって変化するとき, 点 P の軌跡を求めよ.
- (3) 内積 $\vec{PA} \cdot \vec{PB}$ の最大値と, そのときの θ の値を求めよ.

(13 同志社大 理工 2 月 10 日 2)

(解答)

【 20 】

2 直線

$$x \cos \theta + y \sin \theta = 6$$

$$x \sin \theta - y \cos \theta = 8$$

の交点を $P(\theta)$ とおく. このとき, 次の間に答えなさい.

- (1) $\theta = \frac{\pi}{4}$ のとき点 $P\left(\frac{\pi}{4}\right)$ を A とおくと A の座標は $(\boxed{\text{ア}}\sqrt{\boxed{\text{イ}}}, \boxed{\text{ウ}}\sqrt{\boxed{\text{エ}}})$ である.

- (2) 点 $P(\theta)$ の座標 (x, y) を θ で表すと

$$x = \boxed{\text{オ}} \cos \theta + \boxed{\text{カ}} \sin \theta$$

$$y = \boxed{\text{キ}} \sin \theta - \boxed{\text{ク}} \cos \theta$$

である.

- (3) θ が $\frac{\pi}{4} \leq \theta \leq \frac{3\pi}{4}$ を動くとき, 点 $P(\theta)$ の軌跡は中心 $(\boxed{\text{ケ}}, \boxed{\text{コ}})$, 半径 $\boxed{\text{サシ}}$ の円の一部分 (円弧) を動き, その円弧の長さは $\boxed{\text{ス}}\pi$ である.

- (4) 点 $P\left(\frac{3\pi}{4}\right)$ を B, 点 $P(\theta)$ を P とおく. このときベクトル \vec{PA} とベクトル \vec{PB} の内積は

$$\vec{PA} \cdot \vec{PB} = \boxed{\text{セソタ}} \left(\boxed{\text{チ}} - \sqrt{\boxed{\text{ツ}}} \sin \theta \right)$$

である. また, θ が $\frac{\pi}{4} \leq \theta \leq \frac{3\pi}{4}$ を動くとき, この内積が最小となる点 P の座標は $(\boxed{\text{テ}}, \boxed{\text{ト}})$ である.

(13 東北薬大 2)

(解答)

4.2 空間ベクトル

【 21 】

平行四辺形 ABCD を底面とする四角錐 OABCD を考える。線分 OB の中点を B', 線分 OC を 1:2 に内分する点を C' とし, A, B', C' を通る平面と直線 OD の交点を D' とする。また, $\vec{a} = \vec{OA}$, $\vec{b} = \vec{OB}$, $\vec{c} = \vec{OC}$ とする。

- (1) \vec{OD} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} で表せ。
- (2) \vec{OD}' は \vec{OD} の何倍か。
- (3) 三角錐 AOB'D' の体積は, 三角錐 AOBD の体積の何倍か。
- (4) 四角錐 OAB'C'D' の体積は, 四角錐 OABCD の体積の何倍か。

(13 大阪教育大 3)

(解答)

【 22 】

四面体 OABC において, $OA = OB = OC = 2$, $\angle AOB = \angle AOC = \frac{\pi}{3}$, $\angle BOC = \frac{\pi}{2}$ が成り立つとする。辺 AB の中点を M, 辺 OC を 1:2 に内分する点を P とし, $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$, $\vec{OC} = \vec{c}$ とするとき, 次の問いに答えよ。

- (1) \vec{MP} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表せ。
- (2) \vec{AB} と \vec{MP} の内積を求めよ。また, $|\vec{MP}|$ の大きさを求めよ。
- (3) $\triangle ABP$ の面積を求めよ。

(13 芝浦工大 2月1日 2)

(解答)

【 23 】

4点 A(0, 0, 0), B(0, 1, 1), C(-1, -1, 2), D(2, 3, 1) を頂点とする三角錐(四面体) ABCD がある。

- (1) 三角形 BCD の面積を求めよ。
- (2) 三角錐 ABCD の体積を求めよ。

(13 日本獣医科大 2)

(解答)

【 24 】

空間において、2点 $A(0, 1, 0)$, $B(-1, 0, 0)$ を通る直線を l とする。次の問いに答えよ。

- (1) 点 P を l 上に、点 Q を z 軸上にとる。 \overrightarrow{PQ} がベクトル $(3, 1, -1)$ と平行になるときの P と Q の座標をそれぞれ求めよ。
- (2) 点 R を l 上に、点 S を z 軸上にとる。 \overrightarrow{RS} が \overrightarrow{AB} およびベクトル $(0, 0, 1)$ の両方に垂直になるときの R と S の座標をそれぞれ求めよ。
- (3) R, S を (2) で求めた点とする。点 T を l 上に、点 U を z 軸上にとる。また、 $\vec{v} = (a, b, c)$ は零ベクトルではなく、 \overrightarrow{RS} に垂直ではないとする。 \overrightarrow{TU} が \vec{v} と平行になるときの T と U の座標をそれぞれ求めよ。

(13 神戸大 理1文1)

(解答)

【 25 】

点 $A(1, 0, 1)$ を通り、ベクトル $\vec{n} = (2, 1, -1)$ に垂直な平面 α を考える。

- (1) 平面 α 上の点 $P(x, y, z)$ に関して $2x + y - z = 1$ が成り立つことを示せ。
- (2) 平面 α に関して点 $B(3, 2, 1)$ と対称な点 C の座標を求めよ。
- (3) 点 B と点 $Q(1, 4, 5)$ と平面 α 上の点 R が正三角形の3頂点となるとき、点 R の座標を求めよ。

(13 津田塾大 情報科学 3)

(解答)

【 26 】

原点を O とする座標空間に3点 $A(1, 0, 0)$, $B(0, 2, 0)$, $C(0, 0, 3)$ がある。

- (1) $\triangle ABC$ の面積を求めよ。
- (2) A, B, C の定める平面を α とする。 O から α に下ろした垂線と α との交点を H とするとき、

$$\overrightarrow{AH} = s\overrightarrow{AB} + t\overrightarrow{AC}$$

を満たすような実数 s, t の値を求めよ。また、 H の座標を求めよ。

- (3) 四面体 $OABC$ に内接する球の半径 r を求めよ。

(13 南山大 情報理工 2)

(解答)

【 27 】

空間内に 3 点 $A(5, 0, 0)$, $B(0, 3, 0)$, $C(3, 6, 0)$ がある. 次の問いに答えよ.

- (1) 点 P を $P(x, y, z)$ とおくととき, $2\vec{BP} + \vec{CP}$ を成分で表せ.
- (2) 点 P が $\vec{AP} \cdot (2\vec{BP} + \vec{CP}) = 0$ を満たしながら動くとき, 点 P は, ある球面上にあることを示せ. また, その球面の中心 Q の座標と半径 r を求めよ.
- (3) $\triangle ABC$ の面積 S を求めよ.
- (4) 点 P が (2) で求めた球面上を動くとき, 四面体 $PABC$ の体積 V の最大値を求めよ. ただし, 4 点 P, A, B, C が同一平面上にあるときは $V = 0$ とする.

(13 関西学院大 理工 2 月 3 日 3)

(解答)